

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	矢掛町立美川小学校	実践者名	河田 耕平
教科	道徳	学年	3・4年
活用内容	自分の考えを表す 意見交流	実践日	令和3年12月21日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	「ウミガメの命」 ウミガメがいろいろな障害を乗り越えて大きくなっていることや、食物連鎖が起こっていることについて考える。		
活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)			
(1) ウミガメについて知っていることを発表する。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> めあて ウミガメがどうやって命をつなげているか考えよう。 </div>			
(2) 本時のめあてを確認する。			
(3) 「ウミガメの命」の範読を聞く。			
(4) Classroomの課題として、配付されたJamboardの付箋に、ウミガメの一生について心に残ったことをできるだけたくさん書く。			
(5) 各自の意見を発表する。			
(6) ウミガメだけでなく様々な生き物が関わり合って生きていることにふれ、命の尊さについて考える。			
(7) 本時のまとめをする。			
実践者の手ごたえ		児童生徒・保護者等の主な反応や声	
Jamboardを使用すると、全員の意見を、瞬時に共有することができるので、話し合いの時間をしっかり確保することができる。		(児童のようす) 児童は端末を活用する授業を楽しみにしている。挙手をして意見を発表することが苦手な児童も、Jamboardを使うと自身の意見を付箋に記入し、無理なく発表や友達との意見交流をすることができている。	

